

トピックス

梅雨時期の対策とは？

梅雨の困りごとと言えば、カビです。カビが発生しやすい条件は、湿度70%~90%、温度20度~30度（28度が最も増殖する温度）です。カビを生やさないためには風通しを良くして温度と湿度を下げ、埃や汚れをためないようまめにお掃除することです。梅雨時期を快適に過ごすために「空気の通り道を確認すること、湿気を持ち込まないこと」を意識してカビ・ダニ対策をしましょう。

キッチン



キッチンはカビや雑菌の繁殖しやすい場所です。汚れを落として後は水滴のメメなふき取りで、カビを防ぎましょう。冷蔵庫はアルコール・スプレーをして、キッチンタオルで拭き取ると簡単です。

お風呂

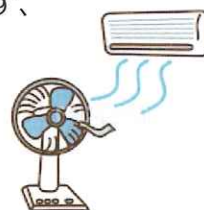
お風呂のカビは一回生えてしまうと処理が大変です。強力なカビ取り洗剤はニオイも強いので、外出前に散布して一気に除去するもあり。カビ退治後は、カビの栄養になる湯垢や石鹸などを残さないようにするのが鉄則です。入浴後、熱めのシャワーでお風呂場の壁を流し、その後冷水シャワーをかけお風呂場の温度を下げ、換気扇や窓の開放でカビの原因を絶ちましょう。

リビング

- ①窓などについた水滴（結露）をこまめに拭く。
- ②空気を循環させる。
換気扇を回し、換気扇から一番遠い窓を15cm程度開けると誘引現象で、勢いよく空気がきます。



換気扇がない場合は、15cm開ける窓と別に空気の出口になる窓を開けておきましょう。雨の日は、窓やドアは開けず、扇風機をフル活用し空気の流れをつくり、クーラーなどで除湿しましょう。家具や電化製品も壁から離し、少しでも風の通り道を確認しましょう。



ちよつと紹介

エアコンクリーニングは6月が最適!!

エアコンクリーニングは、湿気によりカビが繁殖しやすくなる梅雨の時期に済ませておくのがお勧めです。冷房をつけた時に感じる、イヤな臭いの原因は、エアコンの内部に発生する「カビ」です。

そのまま使い続けていると、不快な臭いを感じるだけでなく、カビ菌を吸い込むことで健康被害を引き起こす危険性もあります。

カビやホコリだらけのエアコンフィルターは「目詰まり」の状態

です。目詰まりしているエアコンでは、冷房の効果が下がり、夏の稼働が激しくなる時期に、ムダな電気を多く使うことになってしまいます。暑くなる前にエアコンクリーニングを済ませて、快適な夏を過ごしましょう!!

パイオニアコミュニティでは、エアコンクリーニングを承っております。お気軽にご相談ください。



株式会社パイオニアコミュニティ

TEL.048-476-0260

〒351-0035 埼玉県朝霞市朝志ヶ丘2-12-13

パイオニアコミュニティ

